

自閉症・発達障害のある子どもの保護者・家族支援

－ 本人と家族の穏やかで幸せな生活を願って －

*当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号：20210392＞
なお、本講座は2ポイント（予定）となります。

期 日：2023年12月6日（水）・9日（土）のいずれかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象：自閉症や特別支援教育に携わる先生方、学校関係者のほか、保育・相談に関わる専門職、保護者、および興味のある方々

申込期限：2023年11月28日（火）（お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます）

受講料：7,500円（税込み）

配信方法：『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

★★★ 企画講師 ★★★ 渡部 匡隆 先生 横浜国立大学大学院教育学研究科 教授

家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクト（平成30年）、また、こども家庭庁の基本方針（令和3年12月）でも保護者への支援が打ち出され、自治体でもペアレント・トレーニングに取り組むなど保護者・家族への支援が展開されつつある。一方で、例えば、知的障害を伴わない自閉症・発達障害のある子どもは、就学後、かなり年齢が高くなってから気づかれることも少なくなく、保護者・家族に必要な支援が届きにくく本人や保護者・家族の学習や生活上の困難さが強まったり、保護者との信頼関係が十分に構築される前に専門機関等との連携が開始されることで「不幸なスタート（納富，1992）」となってしまったりする例もある。障害のある子どもの保護者・家族への支援では障害の受容、生活上のストレス、家族関係など丁寧な理解と配慮を必要とすることも多い。そこで、本人と保護者・家族の穏やかで幸せな生活を願って、保護者・家族支援を取り上げた。講演を手がかりに、自閉症・発達障害のある子どもの保護者と家族の理解と支援について考え、今後の実践の一助としたい。

【渡部 匡隆】

<プログラム>

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

	時 間	テ ー マ	講 師（敬称略）
各 日	10:00～11:00	家族のストレスと障害受容の支援	立正大学 名誉教授 中田 洋二郎
	11:10～12:10	家族支援プログラムの実際 -親支援（ペアレントメンターとペアレントトレーニング）・きょうだい支援プログラムについて-	鳥取大学 教授 井上 雅彦
	12:10～13:10	休 憩	
	13:10～14:10	母親への個別支援の実践から	横浜国立大学 教授 渡部 匡隆
	14:20～15:20	父親のストレスと支援	中京大学 教授 辻井 正次
	15:30～16:30	「クレーム」の理解と支援	兵庫教育大学 教授 岡村 章司

オンライン講座申込み時の注意事項

あらかじめ下記の注意事項をご確認・ご了承の上、
お申込みいただきますようお願いいたします。

- 本講座は、「Cisco Webex」を用いて実施するオンライン講座です。

講座への参加、講義資料のダウンロードは PC 環境での実施を推奨しております。

なお、当財団では講座開催中の「Cisco Webex」や PC 環境・機器等に関するお問い合わせへは対応していません。

- 講座受講にあたり、インターネット環境 (Wi-Fi 等)・PC 等の機器環境は受講者の責任においてご準備ください。ご自身の PC 等機器環境、インターネット回線の障害等による講座参加上のトラブルにつきましては、当財団では責任を負いかねます。

- 講義資料につきましては、講座開催日の 1~2 週間前をめぐりにダウンロード用 URL をお送りいたします。各自ダウンロードの上、ご受講ください。

本資料・本 URL の使用は本講座受講者に限ります。URL を第三者へ共有すること、資料の二次利用は固くお断りいたします。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがございます。

- 本講座の撮影、録画、録音は禁止します。